

## 鍼灸科

## 臨床医学特講 1

対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	木本丈晴／矢野恭一郎			実務経験	有	職種	鍼灸師				

## 授業概要

日常よく遭遇する疾患の病態や症状、診断所見などを理解することを目的とする。本科目では、日常の臨床で頻繁に遭遇する運動器疾患について学ぶ。また、東洋医学の見地からの側面からの治療方針の立て方を学ぶ、症状発生の原因を、身体的構造や機能の変化から類推するために必要な筋骨格系と神経系の機能を学ぶ。また、それらを中医学的に解釈しアプローチをする方法を学ぶ。

## 到達目標

現代医学的な視点から、①運動器疾患の病態や症状、診断所見を説明できる。②筋骨格系と神経系の基本的構造と機能を理解したうえで、腰痛や肩こりはじめ、運動器の症状発生の原因を、身体的構造や機能の変化から類推できることを学ぶ。更に、中医学的な視点から、病状を把握したうえで発生原因を類推し、治療方針を定められることを目的とする。

## 授業方法

運動器の傷害を理解するうえで必要な筋骨格系と神経系の基本的構造を学んでいく。授業は1・2年で学んだことを下敷きに、配布される資料などを中心に理解を深めて行くものとする。その時点までに学んだ知識を使い、実際の病状を理解することを主眼とする。

## 成績評価方法

期末試験。

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

## 教科書教材

「解剖学」「東洋医学概論」指定教科書／必要に応じて資料を配布

回数	授業計画
第1回	組織学
第2回	骨学総論
第3回	体幹の骨

第 4 回	上肢の骨
第 5 回	下肢の骨
第 6 回	頭部の骨
第 7 回	筋学総論
第 8 回	上肢の筋
第 9 回	下肢の筋
第 10 回	体幹の筋
第 11 回	頭頸部の筋
第 12 回	神経系総論
第 13 回	中枢神経系
第 14 回	末梢神経系
第 15 回	伝導路

第 16 回	気血津液
第 17 回	病理病症1
第 18 回	病理病症2
第 19 回	気血津液弁証
第 20 回	臓腑弁証1
第 21 回	臓腑弁証2
第 22 回	臓腑弁証3
第 23 回	臓腑弁証4